

エムエステクノシステムズ タンパク質検出における近赤外蛍光観察のメリット

- 日時 : 2013年7月24日(水) 14:40 ~ 16:10
- 場所 : 理学部講義実験棟 3番教室
- 講師 : 株式会社 エムエステクノシステムズ

栗原 吾郎 氏

※ セミナー資料の準備の都合上、事前の参加申し込みをお願いします

● 概要 近赤外蛍光を用いたウェスタンブロッティング

従来の化学発光・可視光領域蛍光を用いたタンパク質の検出法と比較し、近赤外蛍光での検出には多数のメリットがあります。米国 Li-COR 社の Odyssey シリーズは、独自の近赤外蛍光検出技術を用い、ウェスタンブロッティングを中心として cell based assay や in vivo imaging に強い力を発揮します。

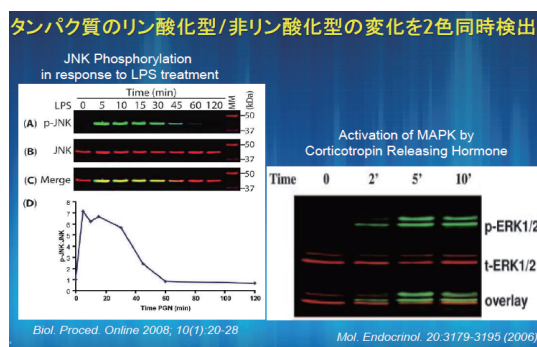
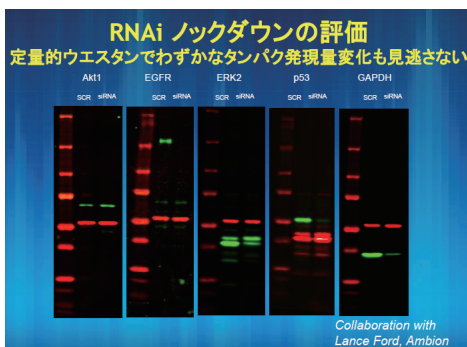
本セミナーでは、近赤外蛍光を用いたウェスタンブロッティングのメリットと、具体的なアプリケーションについてご紹介します。

● ご紹介機種の特徴 (Li-COR 社 Odyssey CLx)

- 可視蛍光で生じる自家蛍光が激減し、化学発光 (ECL) に匹敵する感度。
- 蛍光強度がターゲットタンパク量に正確に比例し、信頼性の高い**定量解析が可能**。
(Science, Nature などでも Odyssey による定量的ウェスタン解析が頻繁に紹介されています)
- 2色検出により、**2ターゲット同時処理が可能**で、Stripping、Reprobing が不要。
- **メンブレンは保存可能**で、退色も無く、いつでも、何回でも撮影することが可能。
(装置の空き時間に合わせて実験計画を立てる必要が無く、撮り直しも容易です)



ご希望があれば、実サンプルの解析も可能です。事前にご照会ください。



コンパクトケミルミイメジャー C-DiGit の展示も行ないます

お問い合わせ：株式会社 エムエステクノシステムズ
東日本営業部 杉浦寧 TEL：03-3235-0673

セミナーお申し込み： 科学分析支援センター (内5102)
セミナー担当： 畠山 (内4346)